



1. 日時

令和4年10月28日（金曜日）19時00分～20時50分

2. 場所

生涯学習センター 学習室1

3. 委員

村田会長（市長）、山下副会長（補導センター運営協議会）、小林副会長（青少年育成市民会議）

風間委員（教育長）、石井委員（健康福祉部長）、渡邊委員（学校教育課長）、福室委員（県立裾野高等学校教頭）、勝又委員（富岡第一小学校校長）、細谷委員（東中学校校長）、中村委員（裾野警察署生活安全課）、廣瀬委員（沼津地区保護司会裾野支部）、八木委員（区長連合会）、千葉委員（裾野青年会議所）、大森委員（裾野市PTA連合会）、岡本委員（県立裾野高等学校PTA）、歌崎委員（西地区子ども会）
（出席11名、欠席4名）

事務局：渡邊主幹、岡元主任

4. 議事要旨

1. 開会

2. 委嘱状交付

会長の村田市長欠席の為、実施しない。

3. 会長あいさつ（村田市長）

会長欠席の為、実施しない。

4. 青少年問題協議会の役割

○条例をもとに協議会の役割を説明

- ・青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な事項を調査審議すること
- ・青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を図ること

○副会長2名を選出

事務局より、山下委員・小林委員の2名を提案→承認

○前年度の協議内容

「青少年を取り巻く情報化の進展によるメリットとデメリット」を

テーマに協議



5. グループワーク

○協議事項「青少年を取り巻く情報化の進展によるメリットとデメリット」について説明します。こちらの協議事項につきましては、現代では、スマートフォンやタブレットがあれば、どこにいても手軽に分からないことを調べられます。テレビではなくニュースサイトで情報を収集したり、電話ではなくSNSで仲間と交流を図ったりすることも当たり前になりました。通信技術が発展していくことで、日常のあらゆる場面にインターネットが使われており、人々の生活に多種多様な変化があります。インターネットがなければできなかったことが「当たり前に行えるようになる」ことは、利便性が高まるという意味では歓迎すべきことでしょう。一方で、青少年たちが安心してメリットを得るためには、その背景にあるデメリットに適切な対処が求められます。このことから、青少年を取り巻く情報化の進展によるメリットとデメリットを設定した。

○グループワーク

メインテーマ「青少年を取り巻く情報化の進展によるメリットとデメリット」

★グループワーク 1

「メリットとデメリット」「デメリットの解決策」

メリット

- ・知りたい情報をすぐ知れる
- ・生活を便利にする
- ・早く情報が手に入る
- ・知らないことを何でも調べられる。
- ・情報が早い多い
- ・GIGA 誰もがキーボード上手
- ・便利
- ・間が持つ

デメリット

- ・誹謗中傷
- ・生活リズムが乱れる
- ・会話が無くなる
- ・課金が簡単にできてしまう。
- ・情報に踊らされる
- ・個人情報の流出
- ・対面のコミュ力低下
- ・病的
- ・テレビより Youtube
- ・イジメにつながる



- ・犯罪につながる
- ・ストレス
- ・仲間ハズレ
- ・情報に振りまわされる
- ・知識の格差
- ・どこでも誰とでもつながれる
- ・犯罪に利用されることの規制の難しさ
- ・常に正しく使う為のアップデートが求められることが大変
- ・都合の良い情報のみ入ってくる
- ・子どもの知識に親がついていけない
- ・交友関係がつかめない
- ・不用な情報も入ってくる

解決策

- ・正しい使い方、知識と各世代で学ぶ機会を定期的に設ける
- ・立場に相応したセキュリティの導入
- ・使用時間の制限（ルール化する）
- ・情報を正しく判断できる力を付ける（学校も家庭も）
- ・正しい規制

色々な立場の方たちの意見を青少年の問題として共有できたと思います。今後それぞれの立場で活かしたいだけだと思います。

6. 閉会